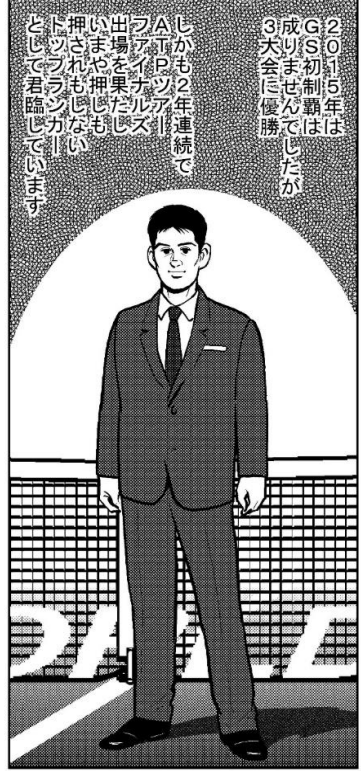


# 錦織 圭の グランドスラムへの条件

監修/辻野隆三(MIRAI TENNIS ACADEMY) 作画/石川正順

錦織 圭

1989年12月29日  
島根県松江市に生まれる  
身長178cm 体重75kg  
2015年末にキングオブ8位  
世界ランキング



当然ながら2016年は初のGS優勝がたいに期待される

それでは偉業達成の必要には何が必要でしょうか

**Point ①**

ご存じのようにGSは5セットマツチであり続々長丁場です



ですから大会序盤で下位の選手相手に力めるとはめになると激体力の消耗が

勝ち進んだとしても後半戦に待ち受ける上位選手との戦いは厳しくなります

それに大会初戦と大いのが案外要注意で

失うものは何もないぞ ショットさ!

この試合の次は下位の選手のことなど考えろ

100%の力で挑んでくるからです

GS制覇のためにその1は「1週目(特に後半)の試合時間を短くする」です!

昨年、USオープンで敗れたのもそういう一因があったはず

「やっやっやっやっやっ」



ジョコビッチ、フェデラー、ナダルやマレーなどGS優勝経験者たちのように1週目の戦いでは力の差を見せつけて勝ち上がったいき

2週目にどんと上げていくのが理想的ですね

GRAND SLAM

事実ジョコビッチはセカンドサーブに力もついており、能力にたけておる

2015年のジョコビッチのサーブ率は、ラオニッチ、フェデラーに次ぐ第4位ではあるもの…

セカンドサーブで60%以上獲得しているということがある

彼のセカンドサーブの高さを証明しているのです

ジョコビッチ 89.5%

ラオニッチ 94.0%

イスナー 93.3%

フェデラー 91.9%

ちなみに錦織のキープ率は約86%で第9位

セカンドサーブの獲得率は約55%で8位です

これを60%まで引き上げられれば、サーブもしやすくなり自信も増すはず

GS制覇のために

「セカンドサーブ時のプレーの質を高める」です

60%

Point ②

錦織は1本で決めてしまおうタイプではなく

良いコースにサーブを入れてから

ストロークを軸に試合を作っていくタイプです

そういう選手が運ぶための重要なポイントにはあります

WORLD TOUR

ファーストサーブの成功率はどの試合でも改善できるものなんです

セカンドサーブを修正するのはなかなかうまくいきません

錦織のセカンドサーブの戦いは、時の差が大きいので

そこは大会を通した安定感がありますね

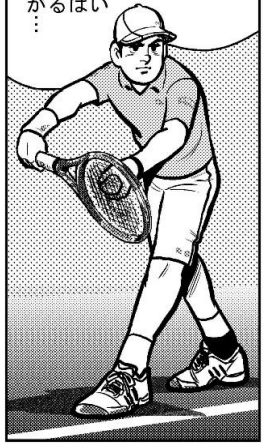
自分ファーストサーブを取るタイプではないが…

ジョコビッチはこう語っています

セカンドサーブで奪うかを常に意識している

Point ③

錦織が得意の  
ストロークや  
リターンで  
相手を倒す  
ために……



その後の  
自分のリター  
ンゲームでも  
嫌なリズムを  
引きずって  
しまいます



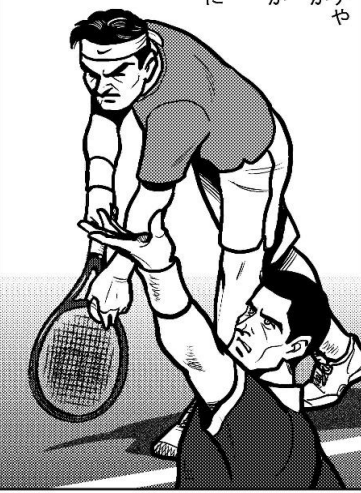
彼の試合の  
スコアを  
つけていて  
気になるのが……



ことに3本連続で  
セカンドサーブ  
になったこと  
なら……

相手もリターンを  
叩いてくるので  
プレイクされる  
危険度でもすし  
増すわけです

ジョコビッチや  
フェデラーが  
3本連続で  
ファーストが  
入らないと  
あまり記憶に  
ありません



ここは  
何とか改善  
したい  
ところです



「ファースト  
サーブの  
連続フォールト  
を減らすです!!」

錦織の最大の  
長所は

ボールとの  
タイミングの  
とり方が  
うまく



打つポジションに  
入るのがとても  
早いことです

あらゆる  
ショットに対して

自分の好きな  
リズム、タイミングで  
打てるのは



クレイコート  
でも  
ライジング  
ショットを  
打つための  
思いです



相手の動きを  
予測する  
能力が非常に  
高いから  
でしょう



ワイドに  
打てる

どう動かないか  
わかる  
打者の  
目がけて



